

**厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」**

平成 30 年度 第 2 回総会プログラム

日 時 平成 31 年 1 月 17 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 10
1 月 18 日 (金) 9 : 00 ~ 11 : 10

会 場 **コンgresクエア日本橋**
コンベンションホール A・B
(〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-3-13
東京建物日本橋ビル 2F)

研究代表者 **鈴木 康 夫**
(東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター)

事務局 東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター
担当 山田 哲弘
T E L 043-462-8811 (代) TEL/ FAX : 043-462-7370
E - mail ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

第2回総会について

1. 演題発表について

1)【発表データの作成】

スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリー、または CD-R に保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、ご自身の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)ご自身のパソコンで発表される場合は、PC 本体持ち込みで、ご準備いただけますようお願いいたします。特に動画、音声がある場合は、PC お持ち込みを推奨いたします。

2)【口演発表・討論時間】

プロジェクト責任者の先生は、総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。**総括は10分、プロジェクト計画・研究成果の発表は6分、討論4分、時間厳守**をお願い致します。

3)【発表データ受付】

発表30分前までにコンベンションホールA・B会場前「発表データ受付」までご提出下さい。

その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。

2日目以降のデータは、前日でも受付することが出来ます。

4)【発表データについて】

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願い致します。

5)【配布資料について】

資料を配布される場合には、**事務局【E-mail: ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp】まで必ずご連絡**をお願い致します。送付先等につきまして、ご案内いたします。

当日、持ち込みになられる場合も必ずご連絡をお願い致します。

配布部数 **300**部のご用意をお願い致します。

6)【研究成果の公表について】

研究成果の公表の際には本調査研究班の助成を受けていることを必ず明記して下さい。

英文標記例

This work was supported in part by Health and Labor Sciences Research Grants for research on intractable diseases from the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan.

2. 会場へのご入場について

2階会場入り口の受付にて芳名録へご署名後、会場へお進みください。
会場は満席を予定しておりますので、前の方よりつめてお座り下さい。
ご協力をお願い致します。

3. 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

4. 会場案内図

コングレスクエア日本橋

住所：〒103-0027

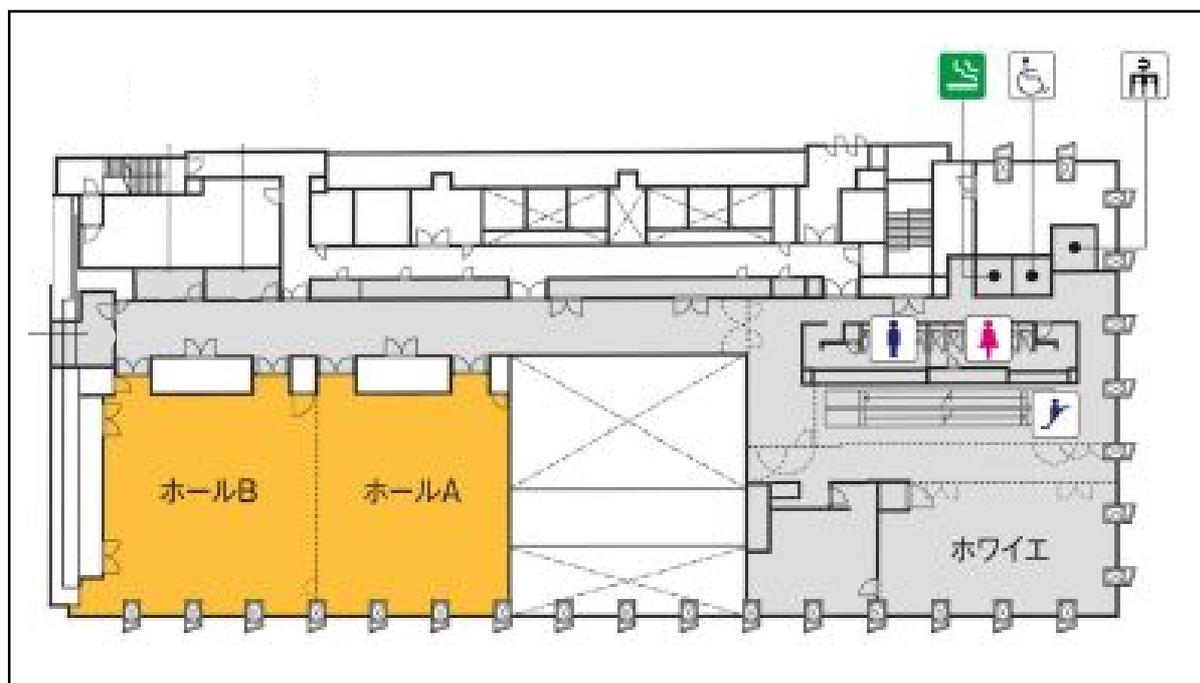
東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 2F

TEL：03-3275-2088（事務所直通）

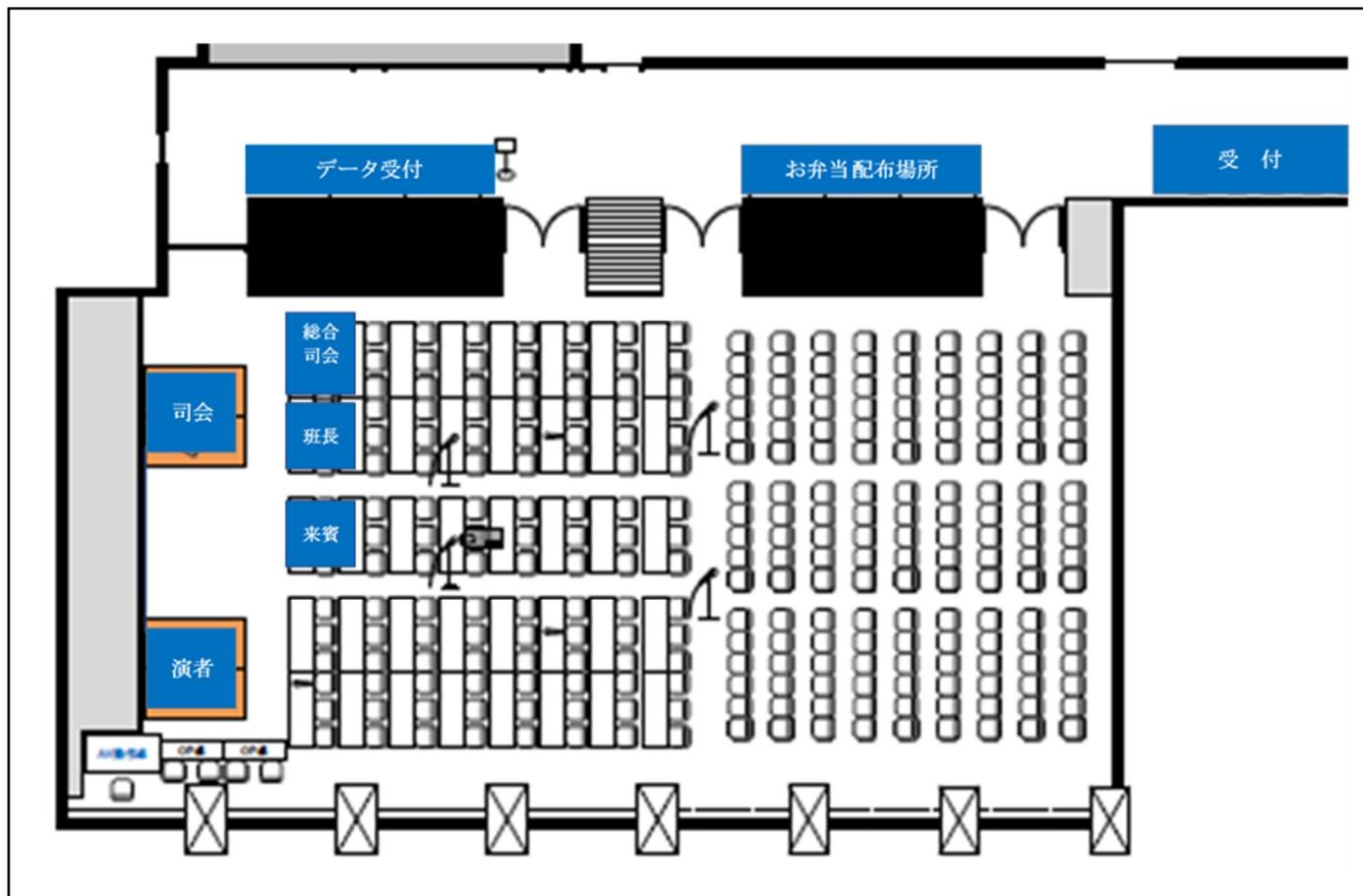
アクセス 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草「日本橋」駅 B9 出口 直結
東京メトロ半蔵門線「三越前」駅 B5 出口より 徒歩 3分
JR「東京」駅 日本橋口より 徒歩 5分
東京八重洲中央口より 徒歩 10分



【2階】



【コンベンションホールA・B 会場内】



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成 30 年度 第 2 回総会プログラム

(敬称略)

平成 31 年 1 月 17 日 (木)

開会 (9:30)

. 厚生労働省健康局 難病対策課 挨拶

. 研究代表者挨拶・研究の進め方
研究代表者 鈴木 康夫

. 研究報告

1. 診断基準の改訂 (9:50~10:40)

総括 平井郁仁 福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター (10分)

潰瘍性大腸炎の臨床的重症度による分類の改定 - 第 2 回アンケート結果と進捗状況の報告 -

○高津典孝¹、竹内 健³、長沼 誠⁴、大塚和朗⁵、渡辺憲治⁶、松本主之⁷、江崎幹宏⁸、小金井一隆⁹、杉田昭¹⁰、畑 啓介¹¹、二見喜太郎¹²、味岡洋一¹³、田邊 寛¹⁴、岩下明德¹⁴、平井郁仁¹(福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科²、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科³、慶應義塾大学医学部 消化器内科⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部⁵、兵庫医科大学腸管病態解析学⁶、岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野⁷、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁸、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科⁹、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター¹⁰、東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科・血管外科¹¹、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター(外科)¹²、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野¹³、福岡大学筑紫病院 病理部¹⁴)

炎症性腸疾患の疾患活動性指標集の改定プロジェクト - 第 2 回アンケート結果と進捗状況の報告 -

○岸 昌廣¹、高田康道¹、別府剛志¹、高津典孝²、竹内 健³、鈴木康夫⁴、平井郁仁²(福岡大学筑紫病院 消化器内科¹、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター²、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁴)

クローン病に関連する癌サーベイランス法の確立に向けて - 大腸肛門部癌に対するサーベイランス案 -

二見喜太郎¹、東 大二郎¹、平野由紀子¹、杉田 昭²、小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁷、畑 啓介⁸、楠 正人⁹、荒木俊光⁹、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島恒和¹²、木村英明¹³、亀山仁史¹⁴、江崎幹宏¹⁵、平井郁仁¹⁶、渡辺憲治¹⁷、原岡誠二¹⁸、岩下明德¹⁸(福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院⁶、東京女子医大 消化器外科⁷、東京大学腫瘍外科⁸、三重大学消化管・小児外科⁹、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴、九州大学病態機能内科¹⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁶、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁷、福岡大学筑紫病院病理¹⁸)

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立-Target vs Random 生検のランダム化比較試験のフォローアップスタディー

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、味岡洋一²、安藤 朗³、池内浩基⁴、岡崎和一⁵、緒方晴彦⁶、金井隆典⁷、猿田雅之⁸、清水俊明⁹、杉田 昭¹⁰、仲瀬裕志¹¹、中野 雅¹²、中村志郎¹³、長堀正和¹⁴、西脇祐司¹⁵、久松理一¹⁶、平井郁仁¹⁷、福島浩平¹⁸、二見喜太郎¹⁹、穂刈量太²⁰、松岡克善²¹、松本主之²²、日比紀文²³、渡辺 守²⁴、鈴木康夫²⁵(東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病

理学分野²、滋賀医科大学内科学講座消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）⁵、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁸、順天堂大学医学部小児科学教室⁹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹⁰、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹¹、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹³、東京医科歯科大学医学部臨床試験管理センター¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵、杏林大学医学部第三内科学¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野¹⁸、福岡大学筑紫病院外科¹⁹、防衛医科大学校消化器内科²⁰、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²¹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²²、杏林大学第三内科²³、東京医科歯科大学消化器病態学²⁴、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²⁵）

【誌上発表】Crohn病に合併した大腸癌のsurveillance program 確立の検討（痔瘻癌を含む）

- 作成 surveillance program の検証 -

杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、楠 正人⁸、畑 啓介⁹、福島浩平¹⁰、小金井一隆¹¹、佐々木 巖¹²（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学消化管、小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、みやぎ健診プラザ¹²）

【誌上発表】クローン病術後再発に関するカプセル内視鏡評価の意義に関する検討

江崎幹宏¹、松本主之²、鳥巢剛弘³、梅野淳嗣³、平野敦士³、冬野雄太³、平井郁仁⁴、二見喜太郎⁵、中村志郎⁶、池内浩基⁷、渡辺憲治⁸、大宮直木⁹、中村正直¹⁰、内藤裕二¹¹、仲瀬裕志¹²、松浦 稔¹³、藤谷幹浩¹⁴、角田洋一¹⁵、大森鉄平¹⁶、飯島英樹¹⁷、平岡佐規子¹⁸、蔵原晃一¹⁹、金城 徹²⁰、金城福則²¹、芦塚伸也²²、山本章二郎²³、竹島史直²⁴、光山慶一²⁵、猿田雅之²⁶、石川 大²⁷、澁谷智義²⁷、桜庭裕丈²⁸、小山文一²⁹、久松理一³⁰、細江直樹³¹、緒方晴彦³¹、長沼 誠³²、金井隆典³²、小林 拓³³、日比紀文³³、長堀正和³⁴、渡辺 守³⁴、竹内 健³⁵、松岡克善³⁵、鈴木康夫³⁶（佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹、岩手医科大学内科学講座消化器消化管分野²、九州大学病態機能内科学³、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、兵庫医科大学内科炎症性腸疾患学講座内科部門⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁷、兵庫医科大学腸管病態解析学⁸、藤田保健衛生大学消化器内科⁹、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学¹⁰、京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、札幌医科大学医学部消化器内科学¹²、京都大学医学部附属病院内視鏡部¹³、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学¹⁴、東北大学病院消化器内科¹⁵、東京女子医科大学消化器病センター¹⁶、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学¹⁷、岡山大学病院消化器内科¹⁸、松山赤十字病院胃腸センター¹⁹、琉球大学医学部附属病院光学医療診療部²⁰、浦添総合病院²¹、宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御分野²²、宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野²³、長崎大学医学部消化器内科²⁴、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門²⁵、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科²⁶、順天堂大学医学部消化器内科学講座²⁷、弘前大学消化器血液内科学講座²⁸、奈良県立医科大学消化器・総合外科²⁹、杏林大学医学部第三内科学³⁰、慶應義塾大学医学部内視鏡センター³¹、慶應義塾大学医学部消化器内科³²、北里大学研究所病院 IBD センター³³、東京医科歯科大学消化器内科³⁴、東邦大学医療センター佐倉病院³⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター³⁶）

【誌上発表】潰瘍性大腸炎（UC）、クローン病（CD）、分類不能のIBD（IBD unclassified, IBDU）、Indeterminate colitis（IC）における診断変遷症例の検討

岡崎和一¹、福井寿朗¹、深田憲将¹、大宮美香¹、濱田 円²、吉岡和彦³、仲瀬裕志⁴、妹尾 浩⁵、松浦 稔⁵、中村志郎⁶、渡辺憲治⁶、池内浩基⁷、金井隆典⁸、緒方晴彦⁸、久松理一⁹、平井郁仁¹⁰、鈴木康夫¹¹（関西医科大学内科学第三講座¹、関西医科大学附属病院消化管外科²、関西医科大学総合医療センター消化管外科³、札幌医科大学医学部消化器内科学講座⁴、京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁷、慶應義塾大学医学

部消化器内科⁸、杏林大学医学部第三内科学⁹、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁰、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹¹)

【誌上発表】本邦における腸管ペーチェット病に対する外科治療の現況調査(多施設共同研究)

杉田 昭¹、小金井一隆¹、内野 基²、二見喜太郎³、根津理一郎⁴、藤井久男⁵、舟山裕士⁶、福島浩平⁷、池内浩基⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、荒木俊光¹¹、高橋賢一¹²、水島恒和¹³、畑 啓介¹⁴、小山文一¹⁵、亀山仁史¹⁶、木村英明¹⁷、久松理一¹⁸(横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座²、福岡大学筑紫病院外科³、西宮市立中央病院外科⁴、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東北大学分子病態外科⁷、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁸、東京女子医大消化器一般外科⁹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹⁰、三重大学消化管・小児外科学¹¹、東北労災病院大腸肛門病センター¹²、大阪大学消化器外科¹³、東京大学腫瘍外科¹⁴、奈良県立医大消化器・総合外科¹⁵、新潟大学消化器・一般外科¹⁶、横浜市立大学市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁷、帝京大学第三内科¹⁸)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI と色素内視鏡の比較試験 Navigator

Study : 追加検討

渡辺憲治¹、猿田雅之²、斎藤彰一³、田尻久雄²、西山宗希⁴、岡 志郎⁴、田中信治⁴、味岡洋一⁵、嶋本文雄⁶、竹内 健⁷、鈴木康夫⁷、大宮直木⁸、藤井茂彦⁹、柿本一城¹⁰、西下正和¹¹、福知 工¹²、畑 啓介¹³、櫻井俊治¹⁴、榎田博史¹⁴、樋田信幸¹⁵、中村志郎¹⁵、平井郁仁¹⁶、松井敏幸¹⁶、岡本康治¹⁷、江崎幹宏¹⁸、野崎良一¹⁹、浦岡俊夫²⁰、川野伶緒²¹、斎藤 豊²²、池内浩基²³、岩男 泰²⁴、松本主之²⁵、工藤進英²⁶(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、東京慈恵会医科大学消化器内科²、東京慈恵会医科大学内視鏡科³、広島大学内視鏡診療科⁴、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学⁵、広島修道大学健康科学部⁶、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁷、藤田医科大学消化管内科学⁸、京都桂病院消化器内科⁹、大阪医科大学第二内科¹⁰、正啓会西下胃腸病院¹¹、済生会中津病院消化器内科¹²、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹³、近畿大学消化器内科¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁶、九州大学病態機能内科学¹⁷、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁸、高野会高野病院消化器内科¹⁹、群馬大学消化器・肝臓内科学²⁰、広島大学病院 総合医療研究推進センター²¹、国立がん研究センター中央病院内視鏡科²²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門²³、慶應義塾大学予防医療センター²⁴、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²⁵、昭和大学横浜市北部病院消化器センター²⁶)

2. 疫学・データベース作成プロジェクト(10:40~11:00)

総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野(10分)

難治性炎症性腸管障害希少疾患(クローンカイト・カナダ症候群、非特異性多発性小腸潰瘍症、腸管型ペーチェット病)の全国疫学調査

西脇祐司¹、村上義孝²、大庭真梨²、朝倉敬子¹、福島若葉³、大藤さとし³、鈴木康夫⁴、竹内 健⁴(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野²、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学³、東邦大学佐倉病院消化器内科⁴)

3. IBDの病診連携を構築するプロジェクト(11:00~11:15)

総括 久松理一 杏林大学医学部第三内科学

IBDの病診連携を構築するプロジェクト

○久松理一¹、猿田雅之²、長堀正和³、池内浩基⁴、鈴木康夫⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、東京慈恵医科大学 消化器・肝臓内科²、東京医科歯科大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター⁵)

4. 広報活動/研究成果公表/専門医育成プロジェクト(11:15~11:45)
総括 岡崎和一 関西医科大学内科学第三講座(10分)

Web を主体とした患者・家族への情報発信と一般医の啓発・教育活動:「炎症性腸疾患患者の就労について Q&A」

鈴木康夫¹、竹内 健²、○長堀正和³、藤谷幹浩⁴、中村志郎⁵、穂刈量太⁶、渡邊知佳子⁶、藤井久男⁷、岡崎和一⁸、二見喜太郎⁹、安藤 朗¹⁰、馬場重樹¹⁰、江崎幹宏¹¹、加藤 順¹²、長沼 誠¹³、畑 啓介¹⁴、新井勝大¹⁵
(東邦大学佐倉病院 IBD センター¹、東邦大学佐倉病院消化器内科²、東京医科歯科大学 消化器内科³、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁵、防衛医科大学校内科⁶、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁷、関西医科大学内科学第三講座⁸、福岡大学筑紫病院外科⁹、滋賀医科大学消化器内科¹⁰、佐賀大学医学部附属病院消化器内科¹¹、三井記念病院内視鏡部¹²、慶應義塾大学医学部 消化器内科¹³、東京大学医学部腫瘍外科¹⁴、国立成育医療研究センター消化器科¹⁵)

IBD を専門とする消化器医育成プログラムの開発

鈴木康夫¹、竹内 健²、岡崎和一³、二見喜太郎⁴、安藤 朗⁵、辻川知之⁵、渡辺 守⁶、長堀正和⁶、松岡克善²、高後 裕⁶、蘆田知史⁷、○藤谷幹浩⁸、上野伸典⁸、安藤勝祥⁸、稲場勇平⁹、中村志郎¹⁰、渡辺憲治¹⁰、福島浩平¹¹、松井敏幸¹²、平井郁仁¹²、穂刈量太¹³、金井隆典¹⁴、長沼 誠¹⁴、藤井久男¹⁵、横山 薫¹⁶、木村英明¹⁷、江崎幹宏¹⁸
(東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²、関西医科大学内科学第三講座³、福岡大学筑紫病院外科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、東京医科歯科大学 消化器病態学⁵、国際医療福祉大学病院消化器内科⁶、札幌徳州会病院 IBD センター⁷、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野⁸、市立旭川病院消化器病センター⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁰、東北大学大学院消化管再建医工学分野 分子病態外科学分野¹¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科¹²、防衛医科大学校内科¹³、慶應義塾大学消化器内科¹⁴、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター¹⁵、北里大学医学部消化器内科¹⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁷、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁸)

5. 腸内細菌プロジェクト(11:45~12:00)
総括 安藤 朗 滋賀医科大学 消化器内科

日本人腸内真菌叢の特徴と IBD 患者における変化について

安藤 朗¹、井上 亮²、西田淳史¹、高木智久³、内藤裕二³
(滋賀医科大学消化器内科¹、京都府立大学²、京都府立医科大学消化器内科³)

----- 昼食 12:00~13:00 -----

(13:00)

国立保健医療科学院 挨拶
国立保健医療科学院 研究事業推進官(厚生労働科学研究費補助金
政策技術評価研究部 上席主任研究官 厚生労働省大臣官房厚生科学課(併任)
武村 真治先生

6. 治療指針・ガイドラインの改訂 (13:10~14:50)

総括 中村志郎 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門 (10分)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 臨床研究部 炎症性腸疾患科 (10分)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

○中村志郎¹、松井敏幸²、杉田 昭³、余田 篤⁴、安藤 朗⁵、金井隆典⁶、長堀正和⁷、樋田信幸¹、穂苅量太⁸、渡辺憲治⁹、仲瀬裕志¹⁰、竹内 健¹¹、上野義隆¹²、福島浩平¹³、二見喜太郎¹⁴、鈴木康夫¹¹ (兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター³、大阪医科大学小児科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、慶應義塾大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、防衛医科大学校消化器内科⁸、兵庫医科大学腸管病態解析学⁹、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁰、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹¹、広島大学病院内視鏡診療科¹²、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建医工学¹³、福岡大学筑紫病院外科¹⁴)

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○久松理一¹、平井郁仁²、小金井一隆³、新井勝大⁴、虻川大樹⁵、小林 拓⁶、長沼 誠⁷、松浦 稔⁸、松岡克善⁹、猿田雅之¹⁰、畑 啓介¹¹、加藤真吾¹²、加藤 順¹³、仲瀬裕志¹⁴、中村志郎¹⁵、鈴木康夫¹⁶ (杏林大学医学部第三内科学¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、横浜市民病院炎症性腸疾患科³、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科⁴、宮城県立こども病院総合診療科・消化器科⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁶、慶應義塾大学消化器内科⁷、京都大学医学部消化器内科⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁹、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁰、東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科¹¹、埼玉医科大学消化器・肝臓内科¹²、三井記念病院消化器内科¹³、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁶)

「クローン病肛門部病変のすべて」の改訂 - 完成の報告 -

二見喜太郎¹、東 大二郎¹、平野由紀子¹、杉田 昭²・小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、内野 基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁷、畑 啓介⁸、楠 正人⁹・荒木俊光⁹、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島恒和¹²、木村英明¹³、亀山仁史¹⁴、佐原力三郎¹⁵、梅枝 覚¹⁶、太田章比古¹⁷、江崎幹宏¹⁸、渡辺憲治¹⁹、平井郁仁²⁰ (福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院⁶、東京女子医大 2 外科⁷) (東京大学腫瘍外科⁸、三重大学消化管・小児外科⁹、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴、JCHO 東京山手メディカルセンター¹⁵、四日市羽津医療センター¹⁶、家田病院¹⁷、佐賀大学医学部附属病院¹⁸、兵庫医大 腸管病態解析学¹⁹、福岡大学筑紫病院 IBD センター²⁰)

潰瘍性大腸炎に合併した dysplasia, cancer の外科治療指針

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、二見喜太郎⁵、楠 正人⁶、小山文一⁷、水島恒和⁸、板橋道朗⁹、木村英明¹⁰、安藤 朗¹¹、岡崎和一¹²、緒方晴彦¹³、金井隆典¹⁴、猿田雅之¹⁵、清水俊明¹⁶、仲瀬裕志¹⁷、中野 雅¹⁸、中村志郎¹⁹、長堀 正和²⁰、西脇祐司²¹、久松理一²²、平井郁仁²³、穂刈量太²⁴、松岡克善²⁵、松本主之²⁶、鈴木康夫²⁷ (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁷、大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学寄付講座⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患 (IBD) センター¹⁰、滋賀医科大学内科学講座消化器内科¹¹、関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科)¹²、慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹³、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室¹⁶、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁷、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁹、東京医科歯科大学医学部 臨床試験管理センター²⁰、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²¹、杏林大学医学部第三内科学²²、

福岡大学筑紫病院消化器内科²³、防衛医科大学校消化器内科²⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科²⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁷)

インフリキシマブ治療によって寛解維持された潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブ治療の中止および継続群の寛解維持率比較研究 (HAYABUSA) ~ 最終データロック・研究終了に向けてのお願い ~

○小林 拓¹、久松理一²、松本主之³、本谷 聡⁴、仲瀬裕志⁵、渡辺憲治⁶、平井郁仁⁷、田中正則⁸、渡辺守⁹、日比紀文¹ (北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹、杏林大学第3内科²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科・消化管分野³、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター⁴、札幌医科大学消化器内科⁵、兵庫医科大学腸管病態解析学⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科⁷、弘前市立病院臨床検査科⁸、東京医科歯科大学消化器病態学⁹)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、楠 正人⁵、舟山裕士⁶、畑 啓介⁷、福島浩平⁸、板橋道朗⁹、池内浩基¹⁰、小金井一隆¹¹、篠崎 大¹²、亀山仁史¹³、亀岡信悟¹⁴、佐々木 巖¹⁵、中村志郎¹⁶、平井郁仁¹⁷ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、三重大学消化管、小児外科学⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京女子医大消化器・一般外科⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、東大医科学研究所病院腫瘍外科¹²、新潟大学消化器・一般外科¹³、牛久愛和総合病院¹⁴、みやぎ健診プラザ¹⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷)

潰瘍性大腸炎外科手術例の「重症度」(最終案)の検討

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、楠 正人⁵、舟山裕士⁶、畑 啓介⁷、福島浩平⁸、板橋道朗⁹、池内浩基¹⁰、小金井一隆¹¹、篠崎 大¹²、亀山仁史¹³、亀岡信悟¹⁴、佐々木 巖¹⁵、中村志郎¹⁶、平井郁仁¹⁷ ((横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、三重大学消化管、小児外科学⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京女子医大消化器・一般外科⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、東大医科学研究所病院腫瘍外科¹²、新潟大学消化器・一般外科¹³、牛久愛和総合病院¹⁴、みやぎ健診プラザ¹⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷)

潰瘍性大腸炎におけるブデソニド注腸フォーム剤寛解導入療法後のメサラジン注腸製剤寛解維持療法の有用性の検討：国内多施設共同前向きランダム化比較試験；STABILITY study

渡辺憲治¹、長沼 誠²、小林清典³、竹内 健⁴、平井郁仁⁵、江崎幹宏⁶、井桁正堯⁷、坂井千秋⁸、青山伸郎⁹、西下正和¹⁰、細見周平¹¹、鎌田紀子¹¹、山上博一¹¹、大森鉄平¹²、柿本一城¹³、馬場重樹¹⁴、安藤朗¹⁴、野崎良一¹⁵、長坂光夫¹⁶、大宮直木¹⁶、宮寄孝子¹⁷、樋田信幸¹⁷、中村志郎¹⁷ (兵庫医科大学腸管病態解析学¹、慶應大学病院消化器内科²、北里大学新世紀医療開発センター³、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁶、兵庫医科大学データサイエンス部門⁷、兵庫医科大学臨床研究支援センター⁸、青山内科クリニック⁹、西下胃腸病院¹⁰、大阪市立大学消化器内科学¹¹、東京女子医科大学消化器内科¹²、大阪医科大学第二内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、高野会高野病院消化器内科¹⁵、藤田医科大学消化管内科学¹⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁷)

【誌上発表】Crohn 病手術例の再発危険因子の検討 prospective study

杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、楠 正人⁶、畑 啓介⁷、

福島浩平⁸、板橋道朗⁹、池内浩基¹⁰、亀山仁史¹¹、亀岡信悟¹²、佐々木 巖¹³、村上義孝¹⁴、西脇祐司¹⁵ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、三重大学消化管、小児外科学⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京女子医大消化器・一般外科⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、牛久愛和総合病院¹²、みやぎ健診プラザ¹³、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵)

【誌上発表】クローン病再手術率の時代的変遷

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、二見喜太郎⁵、楠 正人⁶、小山文一⁷、水島恒和⁸、板橋道朗⁹、木村英明¹⁰、安藤 朗¹¹、岡崎和一¹²、緒方晴彦¹³、金井隆典¹⁴、猿田雅之¹⁵、清水俊明¹⁶、仲瀬裕志¹⁷、中野 雅¹⁸、中村志郎¹⁹、長堀正和²⁰、西脇祐司²¹、久松理一²²、平井郁仁²³、穂刈量太²⁴、松岡克善²⁵、松本主之²⁶、鈴木康夫²⁷ (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁷、大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学寄付講座⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患 (IBD) センター¹⁰、滋賀医科大学内科学講座消化器内科¹¹、関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科)¹²、慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹³、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室¹⁶、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁷、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁹、東京医科歯科大学医学部 臨床試験管理センター²⁰、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²¹、杏林大学医学部第三内科学²²、福岡大学筑紫病院消化器内科²³、防衛医科大学校消化器内科²⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科²⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁷)

7. 新たな IBD 診断の開発 (14:50~15:10)

総括 緒方晴彦 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター (10分)

クローン病におけるカプセル内視鏡検査の有用性・安全性に関する多施設共同前向き研究

SPREAD-J study

猿田雅之¹、櫻井俊之¹ (東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎に対する大腸カプセル内視鏡アトラス作成、大腸カプセル内視鏡による炎症判定スコアの作成

細江直樹¹、緒方晴彦¹、水野慎大²、長沼 誠²、金井隆典²、渡辺 守³、小林 拓⁴、中野 雅⁴、日比紀文⁴、吉田篤史⁵、遠藤 豊⁵、上野文昭⁵、大森鉄平⁶、林田真理⁷、竹内 健⁸、松岡克善⁸、鈴木康夫⁸ (慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、東京医科歯科大学消化器内科³、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁴、大船中央病院消化器肝臓病センター⁵、東京女子医科大学消化器内科⁶、杏林大学第三内科⁷、東邦大学佐倉病院 消化器内科⁸)

【誌上発表】クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡と MRE の比較試験 Progress Study: 国内多施設共同試験

渡辺憲治¹、竹内 健²、矢野智則³、長沼 誠⁴、奥田茂男⁵、大塚和朗⁶、北詰良雄⁷、平井郁仁⁸、村上義孝⁹、屋代香絵¹⁰、別府剛志⁸、松井敏幸⁸、櫻庭裕丈¹¹、石黒 陽¹²、加藤真吾¹³、馬場重樹¹⁴、安藤 朗¹⁴、渡辺知佳子¹⁵、穂刈量太¹⁵、内山和彦¹⁶、高木智久¹⁶、内藤裕二¹⁶、桑木光太郎¹⁷、光山慶一¹⁷、長坂光夫¹⁸、大宮直木¹⁸、前本篤男¹⁹、吉田篤史²⁰、遠藤 豊²⁰、渡部公彦²¹、細見周平²¹、湯川知洋²¹、鎌田紀子²¹、山上博一²¹、宮崎孝子²²、樋田信幸²²、中村志郎²²、山本博徳³、金井隆典⁴、上野文昭²⁰、渡辺 守⁶、日比紀文

23、鈴木康夫²(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²、自治医科大学消化器内科³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部放射線診断科⁵、東京医科歯科大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学放射線科⁷、福岡大学筑紫病院消化器内科⁸、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野⁹、大船中央病院放射線科¹⁰、弘前大学医学部消化器血液内科学講座¹¹、国立病院機構弘前病院臨床研究部¹²、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、防衛医科大学校消化器内科¹⁵、京都府立医科大学消化器内科¹⁶、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門炎症性腸疾患センター¹⁷、藤田医科大学消化管内科学¹⁸、札幌東徳洲会病院 IBD センター¹⁹、大船中央病院消化器 IBD センター²⁰、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター²³)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎の組織学的治癒予測のための内視鏡自動診断システムの開発(UC-CAD study)の現状報告

木村佳代子¹、緒方晴彦¹、高林 馨¹、細江直樹¹、水野慎大²、長沼 誠²、金井隆典²、渡辺英伸³、前田康晴⁴、笹沼靖子⁴、森悠一⁴、三澤将史⁴、小形典之⁴、工藤進英⁴、竹中健人⁵、大塚和朗⁵、渡辺 守⁵、伊東隼人⁶、森健策⁶(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、新潟大学名誉教授³、昭和大学横浜市北部病院⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科⁵、名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻⁶)

【誌上発表】炎症性腸疾患に対する通常内視鏡診断へのAI 適応研究の現状報告

高林馨¹、緒方晴彦¹、福原佳代子¹、細江直樹¹、南木康作²、三上洋平²、水野慎大²、筋野智久²、長沼誠²、金井隆典²、小林拓³、日比紀文³、松岡克善⁴、河村卓二⁵、田中聖人⁵(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター³、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴、日本赤十字社京都第二赤十字病院⁵)

8. 希少疾患プロジェクト(15:10~16:00)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野(10分)

家族性地中海熱遺伝子関連腸炎(IL-1b 関連腸炎)の診断法の確立ならびに病態解明

仲瀬裕志¹、飯田智也¹、平山大輔¹、三橋 慧¹、櫻井晃弘²、久松理一³、松本主之⁴、江崎幹宏⁵、国崎玲子⁶、松浦 稔⁷、大宮 美香⁸、荒木寛司⁹、渡辺憲治¹⁰、田中浩紀¹¹、柿本 一城¹²、小林 拓¹³、日比紀文¹³、竹内 健¹⁴、鈴木康夫¹⁴(札幌医科大学 消化器内科学講座¹、札幌医科大学 遺伝医学²、杏林大学第3内科³、岩手医科大学消化器内科消化管分野⁴、九州大学大学院 病態機能内科学 第二内科⁵、横浜市立大学附属 市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁶、京都大学医学部附属病院 内視鏡部⁷、関西医科大学内科学第3講座⁸、岐阜大学医学部 光学医療診療部⁹、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁰、札幌厚生病院 IBD センター¹¹、大阪医科大学第二内科¹²、北里大学大学院医療系研究科炎症性腸疾患先進治療センター¹³、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科学¹⁴)

CEAS とクローン病の鑑別における尿中プロスタグランジン E 主要代謝産物の有用性について

松野雄一¹、梅野淳嗣、冬野雄太、江崎幹宏²、平井郁仁³、細見周平⁴、渡辺憲治⁵、細江直樹⁶、久松理一⁷、蔵原晃一⁸、八尾恒良⁹、梁井俊一¹⁰、松本主之(九州大学大学院病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部²、福岡大学筑紫病院消化器内科³、大阪市立大学消化器内科⁴、兵庫医科大学腸管病態解析学⁵、慶應義塾大学内視鏡センター⁶、杏林大学医学部第三内科学⁷、松山赤十字病院胃腸センター⁸、佐田厚生会 佐田病院⁹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野¹⁰)

腸管型ベーチェット診療ガイドライン作成プロジェクト(鈴木班・水木班合同プロジェクト)

○久松理一¹、井上 詠²、渡辺憲治³、谷田諭史⁴、国崎玲子⁵、小林清典⁶、長堀正和⁷、新井勝大⁸、内野 基⁹、小金井一隆¹⁰、小林 拓¹¹、岳野光洋¹²、上野文昭¹³、松本主之¹⁴、鈴木康夫¹⁵(杏林大学医学部第三内科

学¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、兵庫医科大学腸管病態解析学³、名古屋市立大学医学部消化器内科⁴、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター⁵、北里大学医学部新世紀医療開発センター⁶、東京医科歯科大学医学部消化器内科⁷、国立成育医療センター 器官病態系内科部消化器科⁸、兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科⁹、横浜市民病院 炎症性腸疾患科¹⁰、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹¹、日本医科大学リウマチ膠原病科¹²、大船中央病院¹³、岩手医科大学消化管内科学¹⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター¹⁵)

chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS)の胃粘膜病変の内視鏡像と病理学的な特徴の 解明

細江直樹¹、緒方晴彦¹、長沼 誠²、金井隆典²、久松理一³、大宮直木⁴、安川重義⁵、平井郁仁⁶、田邊寛⁷、岩下明德⁷、平野敦士⁸、梅野淳嗣⁸、江崎幹宏⁹、松本主之¹⁰(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、杏林大学医学部第三内科学³、藤田保健衛生大学消化管内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁶、福岡大学筑紫病院病理部⁷、九州大学病態機能内科学⁸、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野¹⁰)

【誌上発表】特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験 Castle Study : 国内多施設共同試験

渡辺憲治¹、松本主之²、仲瀬裕志³、久松理一⁴、平井郁仁⁵、小林清典⁶、国崎玲子⁷、長堀正和⁸、竹内健⁹、大藤さとこ¹⁰、福島若葉¹⁰、梁井俊一²、林田真理⁴、稲場勇平¹¹、藤谷幹浩¹¹、櫻庭裕丈¹²、角田洋一¹³、勝野達郎¹⁴、大森鉄平¹⁵、小林 拓¹⁶、秋山純一¹⁷、本田 穰¹⁸、佐藤 公¹⁹、佐々木誠人²⁰、谷田諭史²¹、加賀谷尚史²²、馬場重樹²³、安藤 朗²³、深田憲将²⁴、岡崎和一²⁴、細見周平²⁵、湯川知洋²⁵、鎌田紀子²⁵、山上博一²⁵、宮寄孝子²⁶、樋田信幸²⁶、中村志郎²⁶、松浦 稔²⁷、平田 敬²⁸、石田哲也²⁹、松本吏弘³⁰、金城福則³¹、金城 徹³²、上野義隆³³、田中信治³³、渡辺知佳子³⁴、穂苅量太³⁴、高橋素真³⁵、進士明宏³⁶、北村和哉³⁷、辻川知之³⁸、山下真幸³⁹、長沼 誠⁴⁰、櫻井俊之⁴¹、猿田雅之⁴¹、田中浩紀⁴²、本谷 聡⁴²、邊見慎一郎、宮川一平⁴⁴、田中良哉⁴⁴、日暮琢磨⁴⁵、中島 淳⁴⁵、桐野洋平⁴⁶、水木信久⁴⁷、鈴木康夫⁹、上野文昭⁴⁸、日比紀文¹⁶、渡辺 守⁸(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²、札幌医科大学消化器内科³、杏林大学医学部第三内科学⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、北里大学新世紀医療開発センター⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁹、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹⁰、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野¹¹、弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座¹²、東北大学消化器内科¹³、千葉大学消化器内科¹⁴、東京女子医科大学消化器病センター¹⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁶、国立国際医療研究センター消化器内科¹⁷、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野¹⁸、山梨大学医学部第1内科¹⁹、愛知医科大学消化器内科²⁰、名古屋市立大学消化器内科²¹、国立病院機構金沢医療センター消化器科²²、滋賀医科大学消化器内科²³、関西医科大学消化器肝臓内科²⁴、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²⁶、京都大学消化器内科²⁷、松山赤十字病院胃腸センター²⁸、石田消化器 IBD クリニック²⁹、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科³⁰、浦添総合病院消化器内科³¹、琉球大学光学医療診療部³²、広島大学内視鏡診療科³³、防衛医科大学消化器内科³⁴、香川県立中央病院消化器内科³⁵、諏訪赤十字病院腫瘍内科³⁶、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター³⁷、国立病院機構東近江総合医療センター消化器内科³⁸、聖マリアンナ医科大学消化器内科³⁹、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴⁰、東京慈恵医科大学消化器・肝臓内科⁴¹、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBDセンター⁴²、大阪赤十字病院消化器内科⁴³、産業医科大学医学部第1内科学講座⁴⁴、横浜市立大学肝胆膵消化器病学⁴⁵、横浜市立大学血液・免疫・感染症内科学⁴⁶、横浜市立大学大学院眼科学⁴⁷、大船中央病院消化器 IBDセンター⁴⁸)

9. IBD の特殊系 (16:00 ~ 17:10)

総括 清水俊明 順天堂大学医学部小児科学教室 (10分)

総括 穂苅量太 防衛医科大学校 消化器内科 (10分)

小児期発症炎症性腸疾患患者の理想的なトランジションを目指して

熊谷秀規¹、清水俊明²、内田恵一³、国崎玲子⁴、杉田 昭⁵、大塚宜一²、新井勝大⁶、窪田 満⁷、田尻仁⁸、鈴木康夫⁹(自治医科大学小児科学¹、順天堂大学小児科²、三重大学小児外科³、横浜市立大学市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁵、国立成育医療研究センター消化器科⁶、国立成育医療研究センター総合診療部⁷、大阪府立急性期・総合医療センター小児科⁸、東邦大学佐倉病院 IBDセンター⁹)

本邦における超早期発症型炎症性腸疾患（VE0-IBD）の実態解明と診断基準の作成

新井勝大¹、清水俊明²、工藤孝広²、清水泰岳¹、細井賢二²、大塚宜一²、石毛崇³、内田恵一⁴、田尻仁⁵、鈴木康夫⁶（国立成育医療研究センター消化器科¹、順天堂大学小児科²、群馬大学小児科³、三重大学大学院消化管・小児外科⁴、大阪急性期・総合医療センター 臨床研究支援センター⁵、東邦大学医療センター 佐倉病院 IBD センター⁶）

高齢者潰瘍性大腸炎治療指針の作成

穂苅量太¹、東山正明¹、中村志郎²、横山陽子²、渡辺憲治²、内野 基³、長堀正和⁴、杉田昭⁵、小金井一隆⁵、長沼 誠⁶、馬場重樹⁷、加藤真吾⁸、竹内 健⁹、大森鉄平¹⁰、高木智久¹¹、松本吏弘¹²、長坂光夫¹³、佐上晋太郎¹⁴、北村和哉¹⁵、桂田武彦¹⁶、杉本 健¹⁷、高津典孝¹⁸、猿田雅之¹⁹、櫻井俊之¹⁹、渡辺和宏²⁰（防衛医科大学校消化器内科¹、兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科²、兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科³、東京医科歯科大学消化器内科⁴、横浜市民病院外科⁵、慶應義塾大学消化器内科⁶、滋賀医大消化器内科⁷、埼玉医大総合医療センター⁸、東邦大学佐倉病院消化器内科⁹、東京女子医科大学消化器内科¹⁰、京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学¹¹、さいたま医療センター 消化器内科¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター¹⁴、金沢大学附属病院 消化器内科¹⁵、北海道大学¹⁶、浜松医科大学第一内科・消化器内科¹⁷、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁸、東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科¹⁹、東北大学消化器外科²⁰）

高齢者中等症潰瘍性大腸炎におけるステロイド vs 血球成分除去療法の前向き観察型比較試験

穂苅量太¹、高本俊介¹、東山正明¹、渡辺知佳子¹、三浦総一郎¹、本谷 聡²、加藤真吾³、横山 薫⁴、中村志郎⁵、飯塚正弘⁶（防衛医科大学校 消化器内科¹、札幌厚生病院 IBD センター²、埼玉医科大学総合医療センター 消化器内科³、北里大学東病院 消化器内科⁴、兵庫医科大学 内科学下部消化管科⁵、秋田赤十字病院 消化器内科⁶）

IBD 合併妊娠における便カルプロテクチンを用いた疾患活動性評価と、治療、分娩転帰の関連の検討 多施設共同前向き研究

国崎玲子¹、渡辺知佳子²、穂苅量太²（横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター¹、防衛医科大学校内科²）

【誌上発表】炎症性腸疾患合併妊娠 前向き観察型研究

○渡辺知佳子¹、高本俊介¹、穂苅量太¹、本谷 聡²、松本主之³、藤井俊光⁴、長堀正和⁴、渡辺 守⁴、長沼 誠⁵、金井隆典⁵、小林 拓⁶、日比紀文⁶、酒匂美奈子⁷、吉村直樹⁷、米沢麻利亜⁸、横山 薫⁹、国崎玲子¹⁰、北村和哉¹¹、加賀谷尚史¹²、山上博一¹³、渡辺憲治¹⁴、中村志郎¹⁴、石原俊治¹⁵、江崎幹宏¹⁶、松井敏幸¹⁷（順不同）（防衛医科大学校内科¹、札幌厚生病院 IBD センター²、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野³、東京医科歯科大学 消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部 消化器内科⁵、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター⁶、東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター⁷、東京女子医科大学 IBD センター（消化器内科）⁸、北里大学医学部 消化器内科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター¹⁰、金沢大学医学部 消化器内科¹¹、金沢医療センター 消化器内科¹²、大阪市立大学 消化器内科¹³、兵庫医科大学 内科学下部消化管科¹⁴、島根医科大学 消化器内科¹⁵、九州大学病院 病態機能内科・消化器内科、佐賀大学光学医学診療部¹⁶、福岡大学筑紫病院 消化器内科¹⁷）

----- 17:10 終了予定 -----

事務局連絡
懇親会（17:20～）

10. バイオマーカーと創薬に関するプロジェクト (9:00~9:40)

総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科 (10分)

新たな炎症性腸疾患活動性マーカーとしての LRG の実用化について

○仲 哲治¹、金井隆典²、松岡克善³、飯島英樹⁴、新崎信一郎⁴、水野慎大²、日比紀文⁵ (高知大学医学部臨床免疫学講座¹・慶應義塾大学医学部消化器内科²、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座³、大阪大学医学部消化器内科⁴、北里大学医学部⁵)

UC を合併した PSC の病態に寄与する腸内細菌叢の探索

中本伸宏¹、佐々木伸雄¹、青木 亮¹、宮本健太郎¹、寺谷俊昭¹、須田 亙²、三上洋平¹、水野慎大¹、筋野智久¹、長沼 誠¹、服部正平³、佐藤俊朗¹、金井隆典¹ (慶應大学 医学部消化器内科¹、理化学研究所 統合生命医科学研究センター²、早稲田大学 理工学術院先進理工学研究科³)

新規クローン病バイオマーカー ACP353 の成人及び小児腸疾患での測定：多施設共同研究

吉岡慎一郎^{1,2}、平井郁仁³、江崎幹宏⁴、山崎 博^{1,2}、小野貴大³、武田輝之³、鳥巢剛弘⁵、水落建輝⁶、鈴木康夫⁷、光山 慶一^{1,2} (久留米大・消化器内科¹、久留米大・IBD センター²、福岡大学筑紫病院・消化器内科³、佐賀大・光学医療診療部⁴、九州大学大学院・病態機能内科学⁵、久留米大・小児科学講座⁶、東邦大学佐倉病院・IBD センター⁷)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果予測因子としての温感の意義とそのメカニズムとしての皮膚血流量の解析

飯塚政弘^{1,2}、衛藤 武¹、相良志穂²、熊谷 誠³ (秋田赤十字病院 消化器内科¹、秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター²、秋田赤十字病院 医療技術部³)

11. IBD の遺伝子解析プロジェクト (9:40~10:20)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10分)

腸管パーチェット病および単純性潰瘍における Genome Wide Association Study (GWAS)

冬野雄太¹、平野敦士¹、梅野淳嗣¹、江崎幹宏²、角田洋一³、仲瀬裕志⁴、久松理一⁵、櫻庭裕丈⁶、国崎玲子⁷、平井郁仁⁸、松本主之⁹ (九州大学大学院 病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部²、東北大学 消化器内科³、札幌医科大学 消化器内科学講座⁴、杏林大学医学部 第三内科学⁵、弘前大学大学院 消化器血液内科学講座⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁷、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター⁸、岩手医科大学 内科学講座消化器内科消化管分野⁹)、

チオプリン不耐症を判別する NUDT15 遺伝子検査の開発を軸とした炎症性腸疾患治療薬に関係する遺伝子マーカーの探索と臨床応用研究 (MENDEL Study)

角田洋一¹、木内喜孝²、中村志郎³、高川哲也³、花井洋行⁴、池谷賢太郎⁴、櫻庭裕丈⁵、西田淳史⁶、佐々木誠人⁷、岡庭紀子⁷、久松理一⁸、小林 拓⁹、仲瀬 裕志¹⁰、石黒 陽¹¹、篠崎 大¹²、長沼 誠¹³、平岡佐規子¹⁴、荒木寛司¹⁵、佐々木悠¹⁶、志賀永嗣¹⁷、本谷 聡¹⁷、松岡克善¹⁸、藤谷幹浩¹⁹、佐藤雄一郎²⁰、桂田武彦²¹、梁井俊一²²、穂苅量太²³、石原俊治²⁴、新井勝大²⁵、野口光徳²⁶、中川倫夫²⁷、松浦 稔²⁸、遠藤克哉²⁹、諸井林太郎¹、黒羽正剛¹、金澤 義丈¹、志賀永嗣¹、安藤 朗⁶、下瀬川 徹¹、正宗 淳¹、鈴木康夫³⁰ (東北大学病院 消化器内科¹、東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室²、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門³、浜松南病院 IBD センター⁴、弘前大学大学院医学研究科・

消化器血液内科学講座⁵、滋賀医科大学 消化器内科⁶、愛知医科大学消化器内科⁷、杏林大学医学部第三内科学⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁹、札幌医科大学医学部 消化器内科学講座¹⁰、国立病院機構弘前病院 消化器・血液内科¹¹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹²、慶應義塾大学 消化器内科¹³、岡山大学病院 消化器内科¹⁴、岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部¹⁵、山形大学医学部内科学第二講座¹⁶、札幌厚生病院 IBD センター¹⁷、東京医科歯科大学 消化器内科¹⁸、旭川医科大学消化器血液腫瘍制御内科¹⁹、大崎市民病院消化器内科²⁰、北海道大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野²¹、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²²、防衛医科大学校消化器内科²³、島根大学医学部内科学講座第二²⁴、国立成育医療研究センター消化器科²⁵、野口胃腸内科医院²⁶、千葉大学医学部附属病院消化器内科²⁷、京都大学大学院医学研究科 消化器内科学²⁸、東北医科薬科大学医学部内科学第二²⁹、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター³⁰)

NUDT15 遺伝子多型とチオプリン製剤服用妊婦より産まれた児の副作用の関連性

高川哲也^{1,2}、角田洋一³、佐藤寿行^{1,2}、小島健太郎¹、小柴良司¹、藤本晃士¹、河合幹夫¹、上小鶴孝二¹、横山陽子¹、木田裕子¹、宮崎孝子¹、樋田信幸¹、渡辺憲治^{1,2}、池内浩基⁴、中村志郎^{1,2} (兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門¹、兵庫医科大学 腸管病態解析学²、東北大学病院 消化器内科³、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 外科部門⁴)

12. 合併症・副作用対策プロジェクト (10:20~11:10)

総括 猿田雅之 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科 (10分)
総括 池内浩基 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学外科部門 (10分)

クローン病術後吻合部潰瘍に関する調査研究

小山文一¹、植田 剛²、藤井久男³、杉田 昭⁴、池内浩基⁵、福島浩平⁶、畑 啓介⁷、荒木俊光⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、楠 正人⁸、小金井一隆⁴、内野 基⁵、渡辺和宏⁶、品川貴秀⁷、高橋賢一¹¹、根津理一郎¹²、橋本可成¹³、舟山裕士¹⁴、水島恒和¹⁵、飯島英樹¹⁶、山本博徳¹⁷、加藤 順¹⁸、小林 拓¹⁹、藤谷幹浩²⁰、佐々木誠人²¹、松岡克善²²、竹中健人²²、田中信治²³、上野義隆²³、東 大二郎²⁴、二見喜太郎²⁴ (奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患外科⁵、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹⁰、東北労災病院大腸肛門外科¹¹、西宮市立中央病院外科¹²、順心病院消化器センター¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、大阪大学消化器外科¹⁵、大阪大学消化器内科¹⁶、自治医科大学消化器内科¹⁷、和歌山県立医科大学消化器内科¹⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁹、旭川医科大学消化器内科²⁰、愛知医科大学消化管内科²¹、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座²²、広島大学病院内視鏡診療科²³、福岡大学筑紫病院外科²⁴)

炎症性腸疾患における血栓症発症の予防・治療に関する研究

藤谷幹浩¹、安藤勝祥¹、稲場勇平²、野村好紀¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男³、蘆田知史⁴、高後 裕⁵、仲瀬裕志⁶、山田 聡⁷、田中一之⁸ (旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²、札幌東徳州会病院 IBD センター³、札幌徳州会病院 IBD センター⁴、国際医療福祉大学病院消化器内科⁵、札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座⁶、京都大学消化器内科⁷、旭川厚生病院消化器科⁸)

潰瘍性大腸炎治療例の予後 QOL の観点から (prospective study)

杉田 昭¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、楠 正人⁸、畑 啓介⁹、福島浩平¹⁰、小金井一隆¹¹、佐々木巖¹²、松岡克善¹³、平井郁仁¹⁴、中村志郎¹⁵、橋本秀樹¹⁶ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学

消化管、小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、みやぎ健診プラザ¹²、東京医科歯科大学消化器内科¹³、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、東京大学大学院保健社会行動学分野¹⁶)

【誌上発表】本邦の炎症性腸疾患患者における EB ウィルス感染状況に関する多施設共同研究

久松理一¹、三浦みき¹、清水泰岳²、新井勝大²、清水俊明³、岩間 達⁴、仲瀬裕志⁵ (杏林大学医学部第三内科学¹、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科²、順天堂大学小児科・思春期科³、埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科⁴、札幌医科大学消化器内科⁵)

----- 11:10 **終了予定** -----

閉会挨拶
事務局連絡